

平成27年7月1日から

# 「障害者総合支援法」の対象となる 疾病を332に拡大します

平成27年7月1日から「障害福祉サービス等<sup>※1</sup>」の対象となる疾病が、151から332へ拡大されます。

対象となる方は、障害者手帳<sup>※2</sup>を**お持ちでなくても**、必要と認められた支援が受けられます。

※1 障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業  
(障害児の場合は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む)

※2 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

## 対象となる方

対象疾病に該当する方（次ページ参照）



## 手続き

- ◆対象疾病に罹患<sup>りかん</sup>していることがわかる証明書（診断書など）を持参し、お住まいの市区町村の担当窓口にてサービスの利用を申請してください。
- ◆障害支援区分の認定や支給決定などの手続き後、必要と認められたサービスを利用できます。  
(訓練系・就労系サービス等は障害支援区分の認定を受ける必要はありません)
- ◆詳しい手続き方法については、お住まいの市区町村の担当窓口にお問い合わせください。

# 平成27年7月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（332疾病）

番号	疾病名
1	アイカルディ症候群
2	アイザックス症候群
3	I g A腎症
4	I g G 4 関連疾患
5	亜急性硬化性全脳炎
6	アジソン病
7	アッシャー症候群
8	アトピー性脊髄炎
9	アペール症候群
10	アミロイドーシス ※
11	アラジール症候群
12	有馬症候群
13	アルポート症候群
14	アレキサンダー病
15	アンジェルマン症候群
16	アントレー・ピクスラー症候群
17	イソ吉草酸血症
18	一次性ネフローゼ症候群 ※※
19	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
20	1 p 36欠失症候群
21	遺伝性ジストニア
22	遺伝性周期性四肢麻痺
23	遺伝性腭炎
24	遺伝性鉄芽球形貧血
25	VATER症候群
26	ウィーバー症候群
27	ウィリアムズ症候群
28	ウィルソン病
29	ウエスト症候群
30	ウェルナー症候群
31	ウォルフラム症候群
32	ウルリッヒ病
33	HTLV-1 関連脊髄症
34	A T R - X 症候群
35	A D H 分泌異常症 ※
36	エーラス・ダンロス症候群
37	エプスタイン症候群
38	エプスタイン病
39	エマヌエル症候群
40	遠位型ミオパチー
41	円錐角膜
42	黄色靭帯骨化症
43	黄斑ジストロフィー
44	大田原症候群
45	オクシピタル・ホーン症候群
46	オスラー病
47	カーニー複合
48	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
49	潰瘍性大腸炎
50	下垂体前葉機能低下症
51	家族性地中海熱
52	家族性良性慢性天疱瘡
53	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
54	歌舞伎症候群
55	ガラクトース-1-リン酸ウルシルトランスフェラーゼ欠損症

番号	疾病名
56	加齢黄斑変性 ※※
57	肝型糖原病
58	間質性膀胱炎（ハンナ型）
59	環状20番染色体症候群
60	関節リウマチ
61	完全大血管転位症
62	眼皮膚白皮症
63	偽性副甲状腺機能低下症
64	ギャロウェイ・モフト症候群
65	急性壊死性脳症
66	急性網膜壊死
67	球脊髄性筋萎縮症
68	急速進行性糸球体腎炎
69	強直性脊椎炎
70	強皮症
71	巨細胞性動脈炎 ※
72	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
73	巨大動脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）
74	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
75	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）
76	筋萎縮性側索硬化症
77	筋型糖原病
78	筋ジストロフィー
79	クッシング病
80	クリオピリン関連周期熱症候群
81	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
82	クルーゾン症候群
83	グルコーストランスポーター1欠損症
84	グルタル酸血症1型
85	グルタル酸血症2型
86	クロウ・深瀬症候群
87	クローン病
88	クロンカイト・カナダ症候群
89	痙攣重積型（二相性）急性脳症
90	結節性硬化症
91	結節性多発動脈炎 ※
92	血栓性血小板減少性紫斑病
93	限局性皮質異形成
94	原発性局所多汗症
95	原発性硬化性胆管炎
96	原発性高脂血症
97	原発性側索硬化症
98	原発性胆汁性肝硬変
99	原発性免疫不全症候群
100	顕微鏡の大腸炎
101	顕微鏡的多発血管炎 ※
102	高 I g D 症候群
103	好酸球性消化管疾患
104	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 ※
105	好酸球性副鼻腔炎
106	抗糸球体基底膜腎炎
107	後縦靭帯骨化症
108	甲状腺ホルモン不応症 ※
109	拘束型心筋症
110	高チロシン血症1型

番号	疾病名
111	高チロシン血症2型
112	高チロシン血症3型
113	後天性赤芽球癆
114	広範脊柱管狭窄症
115	抗リン脂質抗体症候群
116	コケイン症候群
117	コステロ症候群
118	骨形成不全症
119	骨髄異形成症候群
120	骨髄線維症
121	ゴナドトロピン分泌亢進症 ※
122	5 p 欠失症候群
123	コフィン・シリス症候群
124	コフィン・ローリー症候群
125	混合性結合組織病
126	鰓耳腎症候群
127	再生不良性貧血
128	サイトメガロウイルス角膜炎
129	再発性多発軟骨炎
130	左心低形成症候群
131	サルコイドーシス
132	三尖弁閉鎖症
133	CFC症候群
134	シェーグレン症候群
135	色素性乾皮症
136	自己貪食空胞性ミオパチー
137	自己免疫性肝炎
138	自己免疫性出血病XIII
139	自己免疫性溶血性貧血
140	シトステロール血症
141	紫斑病性腎炎
142	脂肪萎縮症
143	若年性肺気腫
144	シャルコー・マリー・トゥース病
145	重症筋無力症
146	修正大血管転位症
147	シュワルツ・ヤンベル症候群
148	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
149	神経細胞移動異常症
150	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
151	神経線維腫症
152	神経フェリチン症
153	神経有棘赤血球症 ※
154	進行性核上性麻痺
155	進行性骨化性線維異形成症 ※※
156	進行性多巣性白質脳症
157	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
158	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
159	スタージ・ウェーバー症候群
160	スティーヴンス・ジョンソン症候群
161	スミス・マギニス症候群
162	スモン
163	脆弱X症候群
164	脆弱X症候群関連疾患
165	正常圧水頭症

新たに対象となる疾病  
 ※ 対象に変更はないが、平成27年1月に疾病表記が変更されたもの  
 ※※ 対象に変更はないが、平成27年7月に疾病表記が変更されたもの

平成27年7月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（332疾病）

166	成人スチル病
167	成長ホルモン分泌亢進症 ※
168	脊髄空洞症
169	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。) ※
170	脊髄髄膜瘤
171	脊髄性筋萎縮症
172	全身型若年性特異性関節炎
173	全身性エリテマトーデス
174	先天性横隔膜ヘルニア
175	先天性核上性球麻痺
176	先天性魚鱗癬 ※※
177	先天性筋無力症候群
178	先天性腎性尿崩症
179	先天性赤血球形成異常性貧血
180	先天性大脳白質形成不全症
181	先天性風疹症候群
182	先天性副腎低形成症
183	先天性副腎皮質酵素欠損症
184	先天性ミオパチー
185	先天性無痛無汗症
186	先天性葉酸吸収不全
187	前頭側頭葉変性症
188	早期ミオクロニー脳症
189	総動脈幹遺残症
190	総排泄腔遺残
191	総排泄腔外反症
192	ソトス症候群
193	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
194	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
195	大脳皮質基底核変性症
196	ダウン症候群
197	高安静脈炎 ※
198	多系統萎縮症
199	タナトフォリック骨異形成症
200	多発血管炎性肉芽腫症 ※
201	多発性硬化症/視神経脊髄炎 ※
202	多発性嚢胞腎
203	多脾症候群
204	タンジール病
205	単心室症
206	弾性線維性仮性黄色腫
207	短腸症候群
208	胆道閉鎖症
209	遅発性内リンパ水腫
210	チャージ症候群
211	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
212	中毒性表皮壊死症
213	腸管神経節細胞僅少症
214	TSH分泌亢進症 ※
215	TNF受容体関連周期性症候群
216	低ホスファターゼ症
217	天疱瘡
218	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症
219	特異性拡張型心筋症
220	特異性間質性肺炎

221	特異性基底核石灰化症
222	特異性血小板減少性紫斑病
223	特異性後天性全身性無汗症
224	特異性大腿骨頭壊死症 ※
225	特異性門脈圧亢進症
226	特異性両側性感音難聴
227	突発性難聴
228	ドラベ症候群
229	中條・西村症候群
230	那須・ハコラ病
231	軟骨無形成症
232	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
233	22q11.2欠失症候群
234	乳幼児肝巨大血管腫
235	尿素サイクル異常症
236	ヌーナン症候群
237	脳腱黄色腫症
238	脳表ヘモジデリン沈着症
239	膿疱性乾癬
240	嚢胞性線維症
241	パーキンソン病
242	パージャー病
243	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症
244	肺動脈性肺高血圧症
245	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）
246	肺胞低換気症候群
247	バッド・キアリ症候群
248	ハンチントン病
249	汎発性特異性骨増殖症
250	P C D H 19関連症候群
251	肥厚性皮膚骨膜炎
252	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
253	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
254	肥大型心筋症
255	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症 ※※
256	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
257	ピッカースタッフ脳幹脳炎
258	非典型溶血性尿毒症症候群
259	非特異性多発性小腸潰瘍症
260	皮膚筋炎/多発性筋炎 ※
261	びまん性汎細気管支炎
262	肥満低換気症候群
263	表皮水疱症
264	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）
265	ファイファー症候群
266	ファロー四徴症
267	ファンコニ貧血
268	封入体筋炎
269	フェニルケトン尿症
270	複合カルボキシラーゼ欠損症
271	副甲状腺機能低下症
272	副腎白質ジストロフィー ※※
273	副腎皮質刺激ホルモン不応症
274	ブラウ症候群
275	ブラダー・ウィリ症候群

276	プリオン病
277	プロピオン酸血症
278	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症） ※
279	閉塞性細気管支炎
280	パーチェット病
281	バスレムミオパチー
282	ヘパリン起因性血小板減少症
283	ヘモクロマトーシス
284	ベリー症候群
285	ペルーシド角膜辺縁変性症
286	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。） ※※
287	片側巨脳症
288	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
289	発作性夜間ヘモグロビン尿症
290	ポルフィリン症
291	マリネスコ・シェーグレン症候群
292	マルファン症候群
293	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー ※
294	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
295	慢性再発性多発性骨髄炎
296	慢性痔炎
297	慢性特異性偽性腸閉塞症
298	ミオクロニー欠神てんかん
299	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
300	ミトコンドリア病
301	無脾症候群
302	無βリポタンパク血症
303	メーブルシロップ尿症
304	メチルマロン酸血症
305	メビウス症候群
306	メンケス病
307	網膜色素変性症
308	もやもや病
309	モワット・ウイルソン症候群
310	薬剤性過敏症症候群
311	ヤング・シンプソン症候群
312	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
313	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
314	4p欠失症候群
315	ライソゾーム病 ※
316	ラスマッセン脳炎
317	ランゲルハンス細胞組織球症
318	ランドウ・クレフナー症候群
319	リジン尿性蛋白不耐症
320	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
321	両大血管右室起始症
322	リンパ管腫症/ゴーラム病
323	リンパ脈管筋腫症 ※
324	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）
325	ルビシユタイン・テイビ症候群
326	レーベル遺伝性視神経症
327	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
328	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
329	レット症候群
330	レノックス・ガストー症候群
331	ロスモンド・トムソン症候群
332	肋骨異常を伴う先天性側弯症

新たに対象となる疾病  
 ※ 対象に変更はないが、平成27年1月に疾病表記が変更されたもの  
 ※※ 対象に変更はないが、平成27年7月に疾病表記が変更されたもの

# 対象外となった疾病について

- ①平成27年1月以降に対象外になった疾病    ②平成27年7月以降に対象外になった疾病

疾病名
劇症肝炎
重症急性膵炎

疾病名
肝外門脈閉塞症
肝内結石症
偽性低アルドステロン症
ギラン・バレ症候群
グルココルチコイド抵抗症
原発性アルドステロン症
硬化性萎縮性苔癬
好酸球性筋膜炎
視神経症
神経性過食症
神経性食欲不振症
先天性QT延長症候群
TSH受容体異常症
特発性血栓症
フィッシャー症候群
メニエール病

- これらの疾病については、障害者総合支援法の対象外となりましたが、すでに障害福祉サービス等※の支給決定等を受けたことがある方は引き続き利用可能です。

- ① 平成27年1月1日以降は対象外となりますが、平成26年12月31日までに障害福祉サービス等※の支給決定等を受けたことがある方は引き続き利用可能です。
- ② 平成27年7月1日以降は対象外となりますが、平成27年6月30日までに障害福祉サービス等※の支給決定等を受けたことがある方は引き続き利用可能です。

※障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業  
(障害児の場合は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む)